氏　名　阿部和芳

目指す石巻市のビジョン

『笑顔あふれる石巻再生』をスローガンに東日本大震災とコロナ禍の対応をし、次の３本柱で「歩み出したものに輝きを」「動かないものに解決策」を講じて、均衡ある市政発展を図り住みたいまち・住んでよかったまちへ持続可能な自治体として生活を守り、行財政改革を断行し取り組んで参ります。
元気で活力のある石巻への活動「元活」石巻！で市民総参加へ徹底した現場主義で行います。
１．稼げるまち　活力ある地場産業の育成、企業育成、雇用創出、企業誘致、循環型社会の整備、IoT 活用など
２．にぎわうまち　地域コミュニティの充実、インバウンド事業、軽トラ市の実施、女性が輝くまちなど
３．備えるまち　防災減災対策、医療福祉の充実、守り隊活用、市民総参加型健康講座、地域イベントの支援など
元気で活力のある石巻への活動「元活」石巻！で SDGs を含め市民総参加へ徹底した現場主義で行います。

課題へのマニフェスト (具体的な政策)

１．人口減少緩和の鍵である若者世代・女性に向けて

「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」での合計特殊出生率達成には無理がある。コロナ禍ではさらに厳しく学校等の施設や社会資本の整備計画も大きく変わる。先ずは、ふるさと納税や関係人口などにより「東日本大震災最大の被災地」の防災教育関係会議を創設し移住など図る事、長期的には「人口減となっても地域住民が幸せに暮らせるか」を推進していく。子ども教育から市政参画を増やし「ふるさとへの愛着」を行い、雇用関係も需給バランスがミスマッチとなっていることで、石巻市の人口動態 20 代から 40 代の女性が少ない現状にある。原因はクリエイティブな働き場がないことや収入が少ないことなどがあげられる。そこで、若者や女性にアニメや漫画を活かしマッチした企業誘致や地元での起業支援を図っていく。

２．暮らしやすいまちの実現に向けて

誰一人取り残さない健康なまち実現を実施していきます。また、待機児童ゼロを任期中に実施するため、認可保育所はもちろん女性が輝くまちを目指し認可外保育所で時間外保育、小児科と連携して病児・病中・病後保育に着手し安心して働けるよう、延長保育等を行って行く。これまでコンパクトシティや中心市街地活性化で対応してきたが、震災後一変し沿岸部の過疎や限界集落が顕著になり石巻市西部地区と乖離している。高齢化率も高く交通の利便性や医療福祉の充実を ICT や LPWA で地域をデジタル化し農業・漁業・鳥獣害対策・防災・防犯・福祉・インフラ管理を図っていく。また、NPO や地域活動支援により対応し教育・文化活動の向上を図る。

３．誰もが稼げるまちの実現に向けて

産業構造がバランス良い構図になっていることと市域が広く資源が豊富であることで短期に実施できる。農林水産業と中小企業に専門官を配置しソフト面の充実を図り所得向上に努め強い産業にする。雄勝硯をはじめ伝統品を育て、アンテナショップや販路拡大を図る。土木建設は、地域貢献度のポイント制を高くし地元優先を図って活力ある地域構造を推進して行く。空き店舗や古民家再生により企業・移住対策を図っていく。
月１～２回の歩行者天国で軽トラ市を実施し生産物販売などで住宅地とのふれあい交流、サンファンを活用したイベントでインバウンド対策を行い誰もが稼げるように図っていく。